



Q & A

最終更新日：2020年12月16日

注意 アプリのアップデートを行ってください。

最新のアプリのバージョンはVer2.1 (2.1.x) です (xはお手持ちのiPadによって数字が異なることがあります。メインメニューおよび各ステップのスタート画面右上にバージョンの情報が書かれています。)。iPad OS14に対応しています。このQ&Aはバージョンアップ後のアプリに対応した内容になっています。

これに伴い操作マニュアルも更新されています (2020年11月9日)。クラウドシステムから最新の操作マニュアルをダウンロードしてください。

*2020年7月27日 (月) 以降にLD-SKAIPアプリのアップデートをしていない場合、クラウドシステムへの同期ができません。Ver1.x.x (xはお手持ちのiPadによって数字が異なることがあります。) と表示されている場合は必ずアップデートしてください。

[LD-SKAIP の利用登録前](#)

[LD-SKAIP の利用登録申込～仮利用](#)

[LD-SKAIP の本利用](#)

操作マニュアル-1- → 操作1

操作マニュアル-2- → 操作2

操作マニュアル-3- → 操作3

操作マニュアル-抜粋版- → 操作抜粋

(各マニュアルのページ数は最新版を参照)

■基本的なiPadの操作方法は説明していない。Apple社の公式サイトやインターネットの検索エンジンで検索して確認する。

LD-SKAIP の利用登録前

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [LD-SKAIP のステップ I は誰でも利用できるのか](#)
- ・ [LD-SKAIP のステップ II・III はどうしたら利用できるのか](#)
- ・ [LD-SKAIP を利用するにはなにが必要になるのか](#)
- ・ [法人利用会員として登録したいが、どうしたらよいか](#)
- ・ [アプリに対応している iOS \(iPadOS\) と iPad の種類を知りたい](#)
- ・ [iPad の Wi-Fi モデルと Wi-Fi+Cellular モデルはなにが違うのか](#)
- ・ [検査をするのに、なにが必要になるのか](#)
- ・ [日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページの「LD-SKAIP 利用」をクリックしても、LD-SKAIP 利用者管理システムに入れない](#)
- ・ [マイページ \(LD-SKAIP 利用者管理システム\) の「利用登録／講習会申込」をクリックしても、次の画面に進めない](#)
- ・ [ポップアップのブロックを解除したのに LD-SKAIP e ラーニング講習会申込ページに進めない](#)
- ・ [LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない](#)
- ・ [アプリはステップ I、II、III すべてダウンロードしなければいけないのか](#)

LD-SKAIP の利用登録申込～仮利用

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [法人利用会員として登録したいが、どうしたらよいか](#)
- ・ [アプリに対応している iOS \(iPadOS\) と iPad の種類を知りたい](#)
- ・ [日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページの「LD-SKAIP 利用」をクリックしても、LD-SKAIP 利用者管理システムに入れない](#)
- ・ [マイページ \(LD-SKAIP 利用者管理システム\) の「利用登録／講習会申込」をクリックしても、次の画面に進めない](#)
- ・ [ポップアップのブロックを解除したのに LD-SKAIP e ラーニング講習会申込ページに進めない](#)
- ・ [LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない](#)
- ・ [アプリはステップ I、II、III すべてダウンロードしなければいけないのか](#)
- ・ [LD-SKAIP のステップ I の講習会はないのか](#)
- ・ [アプリにログインできない](#)
- ・ [講習会の受講を申し込み、費用を納入したのに e ラーニング「ログイン」ボタンが表示されない](#)
- ・ [マイページ \(LD-SKAIP 利用者管理システム\) の e ラーニング「ログイン」ボタンをクリックしても次に進めない](#)
- ・ [e ラーニング講習のサイトで ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてもログインできない](#)
- ・ [講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップ II \(・III\) が起動しない・クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [LD-SKAIP e ラーニングの資料が表示されない](#)
- ・ [LD-SKAIP e ラーニングの資料はダウンロード、保存、印刷してもよいか](#)
- ・ [LD-SKAIP e ラーニングの資料のダウンロード、保存、印刷方法を知りたい](#)
- ・ [クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [インターネットには常に接続している必要があるか](#)
- ・ [クラウドシステムのログインページが分からない](#)
- ・ [LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない](#)
- ・ [パスワードを忘れてしまった](#)
- ・ [LD-SKAIP ID を忘れてしまった](#)
- ・ [操作マニュアルをダウンロードしたい](#)
- ・ [動画マニュアルを視聴したい \(ステップ II・III 利用登録者\)](#)
- ・ [回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい](#)
- ・ [これまでとは別の \(新しく購入した\) iPad で LD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か](#)
- ・ [音声流れない](#)

LD-SKAIP の本利用

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [法人利用会員として登録したいが、どうしたらよいか](#)
- ・ [アプリに対応している iOS \(iPadOS\) と iPad の種類を知りたい](#)
- ・ [アプリにログインできない](#)
- ・ [講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップⅡ \(・Ⅲ\) が起動しない・クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [インターネットには常に接続している必要があるか](#)
- ・ [クラウドシステムのログインページが分からない](#)
- ・ [LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない](#)
- ・ [パスワードを忘れてしまった](#)
- ・ [LD-SKAIP ID を忘れてしまった](#)
- ・ [操作マニュアルをダウンロードしたい](#)
- ・ [動画マニュアルを視聴したい \(ステップⅡ・Ⅲ利用登録者\)](#)
- ・ [回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい](#)
- ・ [これまでとは別の \(新しく購入した\) iPad で LD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か](#)
- ・ [音声が流れない](#)
- ・ [LD-SKAIP ステップⅡ講習会、ステップⅢ講習会を受講した者が S. E. N. S の会支部会で伝達講習会を行ってもよいか](#)
- ・ [検査を実施する際は事前に保護者に説明しなければならないのか](#)
- ・ [小学 1 年生はいつ頃検査をするとよいか](#)
- ・ [ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢをそれぞれ別の日に行ってもよいか](#)
- ・ [検査を中断したい時はどうすればよいか](#)
- ・ [ステップⅡ読字・書字・計算の一括実施を始めたが中断したい場合どうするとよいか](#)
- ・ [ステップⅡ書字の採点で拗音・促音がマスの右上に書かれていない場合どうすればよいか](#)
- ・ [ステップⅡ書字の採点で拗音・促音の文字の大きさについての判定についての基準は](#)
- ・ [検査実施後すぐに採点・同期しないといけないのか](#)
- ・ [検査実施後すぐ別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施してもいいのか](#)
- ・ [別の識別名・実施回で実施した検査結果を統合することはできるか](#)
- ・ [アプリを終了するとログアウトしてしまうのか](#)
- ・ [ログアウトは必ずしないといけないのか／ログインしたままでもよいか](#)
- ・ [ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか](#)
- ・ [ヘッドフォンから音が聞こえない](#)
- ・ [ヘッドフォンをつけるのを嫌がる](#)
- ・ [ステップⅢ算数で画面のメモに文字を書くのが難しい](#)
- ・ [iPad の電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった](#)
- ・ [アプリが固まってしまった](#)

- ・ [アプリが正常に動作しない](#)
- ・ [同じ児童に再度検査を実施したい](#)
- ・ [どれくらいあけたら同じ検査を再度検査してよいか](#)
- ・ [年度が変わったが同じ実施回で検査してよいか](#)
- ・ [年度が変わったが、ステップⅠは新しい担任につけてもらった方がよいか、前の担任につけてもらった方がよいか](#)
- ・ [検査を実施したのに、所見が見られない](#)
- ・ [音声データ（ステップⅡ補助検査：音韻、ステップⅢ読み）を聞くことができない](#)
- ・ [採点をしたのに「採点」のボタンが表示されたままになる](#)
- ・ [クラウドシステムに結果データを同期（送信・受信）できない](#)
- ・ [クラウドシステムで検査結果の閲覧・ダウンロードができない](#)
- ・ [結果を印刷したい](#)
- ・ [結果を保護者に説明する際、結果データをそのままお渡ししてもよいか](#)
- ・ [クラウドシステムでステップⅢ算数の回答内容が表示されない](#)
- ・ [検査データを同期したのに、「結果受信」のボタンが表示されない](#)
- ・ [iOS \(iPadOS\) のバージョンはどこで確認するのか](#)
- ・ [iOS \(iPadOS\) のアップデートとは何か](#)
- ・ [LD-SKAIP アプリのバージョンアップはしないといけないのか](#)
- ・ [LD-SKAIP アプリを利用する際、iPad のアクセシビリティ機能を利用することは可能か](#)

■LD-SKAIP の適用範囲を教えてください

LD-SKAIP は小学1年生～6年生を対象とした検査である。

■LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか

LD-SKAIP は小学1年生～6年生を対象とした検査であり、標準化のデータは小学1年生～6年生を対象にしている。そのため、中学生を検査した場合、小学6年生（12歳6か月以上）の基準値によって評価される。

評価の判定がBやC、支援の必要性があると示された場合は、その能力が弱いと判断でき、その他の検査や日常の学習の様子を踏まえて支援・指導を行っていく。

評価の判定がA、今のところ支援の必要性はないと示された場合は、小学6年生の基準では問題がない、ということであり、生徒の実際の学年、年齢で問題が本当にないかどうかはわからない。そのため、その他の検査や日常の学習の様子を踏まえてさらに検討を行う必要がある。

以上を踏まえ、検査者の判断でLD-SKAIPを実施する。

この際、生年月日は生徒自身の生年月日を登録し、学年は6年と登録して実施する。

■LD-SKAIP のステップⅠは誰でも利用できるのか

2020年10月19日現在はLD学会会員が利用できる。

■LD-SKAIP のステップⅡ・Ⅲはどうしたら利用できるのか

ステップⅡとステップⅢは利用登録とステップⅡ講習会の受講、ステップⅢ講習会の受講をすることで利用できる。

2020年度の各講習会の受講対象はS.E.N.SおよびS.E.N.S-SV有資格者のみである。有資格者以外を対象とした講習会は今後開催予定である。

講習会については日本LD学会のホームページおよびメールで案内する。

■LD-SKAIP を利用するにはなにが必要になるのか

ステップⅠを利用するには、iPadが必要である。

ステップⅡ、Ⅲを利用するには下記の機器、環境が必要である。

- ・iOS (iPadOS) 9～14のiPad

(9.7、10.2、10.5、10.9、11インチいずれかのiPad、iPad Pro、iPad Air
容量16GB以上、Wi-Fiモデルまたはセルラー (Wi-Fi+Cellular) モデル)

*iPad mini および12.9インチ iPad Proは検査環境が異なるため推奨しない

- ・マイク付きヘッドフォン (ステップⅡのみ)

(→[ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか](#))

- ・iPad対応のスタイラスペン (筆圧感知：なし・ありどちらでも可、

ペン先：シリコンゴム、導電性繊維、樹脂いずれも可

[トップにもどる](#)

Apple Pencil は対応の iPad ならば可)

- ・パソコン (Windows7、Windows8、Windows10、Mac OS X 10.4 以降)
- ・ブラウザソフトウェア (Internet Explorer、Firefox、Safari、Google Chrome、Microsoft Edge のいずれか)

*ただし、Internet Explorer では PDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のブラウザを利用する

- ・PDF 閲覧ソフト (<https://get.adobe.com/jp/reader/> から無料ダウンロード可)
- ・Wi-Fi 環境 (アプリダウンロード、ユーザー登録、ログイン、クラウドへの結果送信時に必要。検査実施時には Wi-Fi 環境は不要である)

■法人利用会員として登録したいが、どうしたらよいか

将来的には LD-SKAIP においても法人利用会員を創設する可能性を考えて「LD-SKAIP 利用規約」には記載されている。しかし、2020 年 11 月現在は、個人利用会員の利用拡大、普及に努めており、法人利用会員については今後数年のうちに提供を開始できるよう準備を行う予定である。

法人利用会員の利用開始にあたっては、準備が整い次第 LD 学会ホームページやメール等で周知する。

■アプリに対応している iOS (iPadOS) と iPad の種類を知りたい

現在アプリに対応している iOS (iPadOS) : 9~14

(→[iOS \(iPadOS\) のバージョンはどこで確認するのか](#))

(→[iOS \(iPadOS\) のアップデートとは何か](#))

(→[LD-SKAIP アプリのバージョンアップはしないといけないのか](#))

現在アプリに対応している iPad は下記の通りである。

	サイズ (インチ)						
	7.9	9.7	10.2	10.5	10.9	11	12.9
iPad mini	×	-	-	-	-	-	-
iPad	-	○	○	-	-	-	-
iPad Air	-	○	-	○	○	○	-
iPad Pro	-	○	-	○	-	○	×

○ : アプリに対応している

× : 検査環境が異なるため推奨しない

- : 該当する機種が存在しない

なお、同様の情報を LD 学会のホームページ LD-SKAIP に関するページでも確認できる。

URL: https://www.jald.or.jp/journal_top/ld-skaip

[トップにもどる](#)

■ iPad の Wi-Fi モデルと Wi-Fi+Cellular モデルはなにが違うのか

Wi-Fi モデルは Wi-Fi の環境で接続しているときのみインターネットにつなげることができる。

Wi-Fi+Cellular モデルでは Wi-Fi に接続していなくてもインターネットにつなげることができる。

LD-SKAIP の利用にはどちらのモデルでも可能である。

LD-SKAIP はアプリのダウンロードや検査結果の同期の際には Wi-Fi の環境が必要である。Wi-Fi 環境ではないモバイルネットワーク通信の状態では容量が大きいため、アプリのダウンロードや検査結果の同期を実施することはお勧めしない。

■ 検査をするのに、なにが必要になるのか

ステップ I の実施には、iPad が必要である。

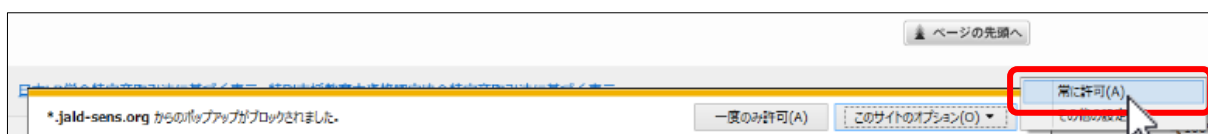
ステップ II・III では

- ・ iOS (iPadOS) 9～14 の iPad
 - (9.7、10.2、10.5、10.9、11 インチいずれかの iPad、iPad Pro、iPad Air 容量 16GB 以上、Wi-Fi モデルまたはセルラー (Wi-Fi+Cellular) モデル)
 - * iPad mini および 12.9 インチ iPad Pro は検査環境が異なるため推奨しない
- ・ マイク付きヘッドフォン (ステップ II のみ)
 - (→ [ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか](#))
- ・ iPad 対応のスタイラスペン (筆圧感知：なし・ありどちらでも可、
ペン先：シリコンゴム、導電性繊維、樹脂いずれも可
Apple Pencil は対応の iPad ならば可)

が必要である。

■ 日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページの「LD-SKAIP 利用」をクリックしても、LD-SKAIP 利用者管理システムに入れない


・ インターネットエクスプローラ (IE) では下記のように画面下部に「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出て、マイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) に遷移しない場合がある。この時は「このサイトのオプション」－「常に許可」をクリックし、今後ポップアップがブロックされないように設定を変更してから再度「LD-SKAIP 利用」をクリックする。

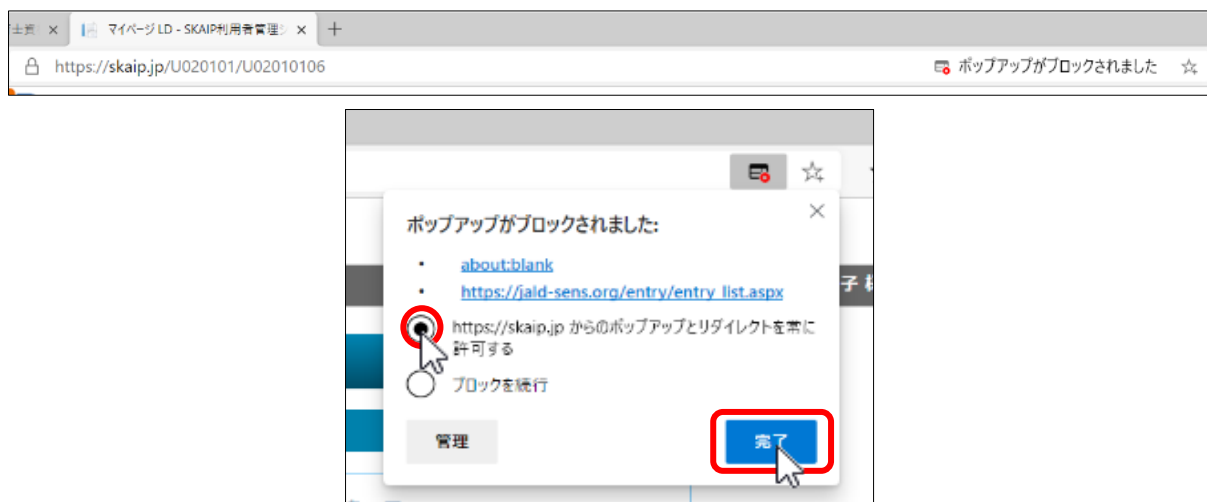


ポップアップブロックの設定解除方法は下記から確認することができる

[トップにもどる](#)

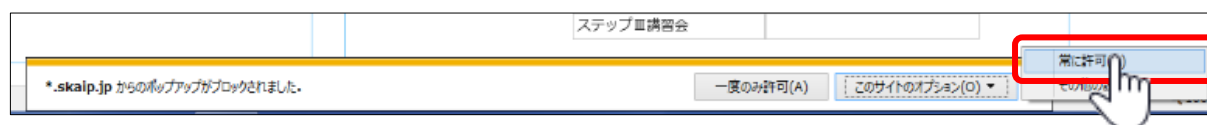
<https://jald-sens.org/entry/SettingPopup.pdf>

・Google Chrome、Microsoft Edge ではアドレスバーに「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出る。をクリックし、「https://xxxxxxxxx からのポップアップとリダイレクトを常に許可する」にチェックを入れ、「完了」をクリックする。その上で再度「LD-SKAIP 利用」をクリックする。




■マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）の「利用登録／講習会申込」をクリックしても、次の画面に進めない

・インターネットエクスプローラ（IE）では下記のように画面下部に「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出て、次の画面に遷移しない場合は「このサイトのオプション」－「常に許可」をクリックし、今後ポップアップがブロックされないように設定を変更してから再度「利用登録／講習会申込」をクリックする。



ポップアップブロックの設定解除方法は下記から確認することができる

<https://jald-sens.org/entry/SettingPopup.pdf>

・Google Chrome、Microsoft Edge ではアドレスバーに「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出る。をクリックし、「https://xxxxxxxxx からのポップアップとリダイレクトを常に許可する」にチェックを入れ、「完了」をクリックする。その上で再度「利用登録／講習会申込み」をクリックする。



[トップにもどる](#)



■ポップアップのブロックを解除したのに LD-SKAIP e ラーニング講習会申込ページに進めない

1. 一度パソコンを再起動し、その状態で新しくインターネットエクスプローラ (IE) 11 (ポップアップブロックが解除されたもの) を起動する。
他のブラウザでも申込みが可能な場合があるが、マイページ利用時の推奨ブラウザである IE を利用する。
2. LD 学会または特別支援教育士資格認定協会のホームページから、会員専用マイページへログインする。
3. 「LD-SKAIP 利用」のボタンをクリックし、LD-SKAIP 利用者管理システムを表示する。
4. 「利用登録/講習会申込」のボタンをクリックする。別のタブ、または別のウインドウに、ステップⅡ e ラーニング講習の申込画面が表示される。(この際も、ポップアップがブロックされていないか、確認する)

■LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない (操作 1 p. 35、操作抜粋 p. 35)

LD-SKAIP は iPad 用のアプリである。Android には対応していない。

各ステップのアプリは下記 QR コードを読み取ってダウンロードページにアクセスし「入手」-「インストール」をタップし、指示に従ってダウンロードする。



LD-SKAIP ステップⅠ



LD-SKAIP ステップⅡ



LD-SKAIP ステップⅢ

それぞれの URL は下記のとおりである。

ステップⅠ

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1373157750?l=ja&ls=1&mt=8>

ステップⅡ

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1375372760?l=ja&ls=1&mt=8>

ステップⅢ

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1375375145?l=ja&ls=1&mt=8>

■アプリはステップⅠ、Ⅱ、Ⅲすべてダウンロードしなければならないのか

各アプリはそれぞれ独立しているため、ステップⅠのみ、ステップⅡのみ、ステップⅢのみをダウンロードして利用することもできる。ただし、検査結果の採点や所見を見るにはステップⅠのメインメニュー「児童管理」から児童選択をする必要がある。そのため下記の組み合わせでダウンロードし、使用する。

ステップⅠのみ

ステップⅠ、Ⅱ

ステップⅠ、Ⅱ、Ⅲ

■LD-SKAIP のステップⅠの講習会はないのか

LD-SKAIP ステップⅠのみの講習会はないが、ステップⅡ講習会でステップⅠの操作方法、解釈などについても説明されている。

また、LD-SKAIP アプリやステップⅠについて解説された操作マニュアル抜粋版が下記からダウンロードできる。マニュアルを参考に操作、活用する。

操作マニュアル抜粋版ダウンロードページ：<https://skaip-sens.net/start/>

■アプリにログインできない

①インターネットに接続していない

ログインする際は、ID とパスワードの認証を行うため、インターネットに接続している必要がある。インターネットに接続した状態でログイン操作を行う。

②ID・パスワードが間違っている

ID：LD-SKAIP IDを入力する。LD-SKAIP IDはマイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）で確認することができる。（確認方法は操作1 p. 32、操作抜粋 p. 32 参照）

パスワード：日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページで使用しているパスワードを入力する。

③パスワードの変更が反映されていない

マイページでパスワードを変更した際は、一度 LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスすることが必要である。LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスすることで、日本 LD 学会のマイページでのパスワード変更が LD-SKAIP システムに反映される。

■講習会の受講を申し込み、費用を納入したのに e ラーニング「ログイン」ボタンが表示されない

講習会申込・参加費納入の情報が反映し、e ラーニングを受講できるようになるまでに 1 時間程度かかる。1 時間以上たってからマイページ(LD-SKAIP 利用者管理システム)に再ログインする。

■マイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) の e ラーニング「ログイン」ボタンをクリックしても次に進めない

「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出て、e ラーニング講習の画面に遷移しない場合は「このサイトのオプション」－「常に許可」をクリックし、今後ポップアップがブロックされないように設定を変更してから再度「ログイン」をクリックする。

■e ラーニング講習のサイトで ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてもログインできない

LD-SKAIP e ラーニング講習は毎回マイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) の e ラーニング「ログイン」ボタンをクリックしてアクセスする必要がある。



■講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップⅡ（・Ⅲ）が起動しない・クラウドシステムにログインできない

①利用権限の変更がアプリに反映されていない（操作 1 p. 15、操作抜粋 p. 15）

LD-SKAIP ステップⅡ（・Ⅲ）の講習会を申し込み、参加費を納入するとステップⅠのみの利用からステップⅡ（・Ⅲ）の仮利用に利用権限が変更になる。参加費納入前の状態でアプリにログインしている場合は、利用権限の変更をアプリに反映させる必要がある。インターネットに接続した状態で、メインメニュー右上の「再認証」をタッチする（ステップⅡ、Ⅲ スタートメニューの「再認証」でも可。いずれか 1 カ所で「再認証」を行えばよい）か、ログインし直す。

なお、講習会を期限内に終了できなかった場合は仮利用期間が終了すると仮利用であったステップは利用できなくなる。

②参加費納入の情報が反映されていない

講習会申込・参加費納入から仮利用が可能になるまでに 1 時間程度かかる。マイページ (LD-

[トップにもどる](#)

SKAIP 利用者管理システム) でステップⅡ (・Ⅲ) に仮利用期間中の表示がない場合、eラーニングのログインボタンが表示されていない場合はまだ参加費納入の情報が反映されていないため、ステップⅡ (・Ⅲ)、クラウドシステムを利用することができない。情報が反映されたのを確認し、再認証をしてから起動する。


■LD-SKAIP eラーニングの資料が表示されない

インターネットブラウザが Internet Explorer (IE) の場合、PDF がうまく表示されないことがある。その場合インターネットブラウザを Microsoft Edge や Google Chrome に変更して表示できるか確認する。

■LD-SKAIP eラーニングの資料はダウンロード、保存、印刷してもよいか

■LD-SKAIP eラーニングの資料のダウンロード、保存、印刷方法を知りたい

eラーニングの資料は、私的利用に限り印刷、ダウンロード (パソコン保存) とともに可能である。ダウンロード、印刷ともにインターネットブラウザの機能ではなく、eラーニングの画面上のボタンから行う。

ブラウザから直接印刷する場合は画面右上のをクリックして印刷する。

ダウンロードは画面右上のをクリックし、ダウンロードする。



■クラウドシステムにログインできない

ステップⅡ 講習会参加費を納入し、マイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) に反映された後、クラウドシステムにログインすることができる。

ステップⅠ のみの利用や、ステップⅡ 講習会参加費納入が反映される前は、ログインすることができない。

■インターネットには常に接続している必要があるか

[トップにもどる](#)

LD-SKAIP アプリを利用するのにインターネット接続が必要なのは下記の場合である。

- ・アプリにログインする
- ・検査結果データを同期（受信・送信）する
- ・再認証をする

ステップ I、II、IIIを実施する際にはインターネットに接続している必要はない。

クラウドシステム、LD-SKAIP 利用者管理システムはインターネットブラウザでの利用であり、インターネット接続が必要である。

■クラウドシステムのログインページが分からない（操作 1 p. 37）

クラウドシステムのログインページ URL は下記である。

クラウドシステムログインページ：<https://www.skaip-sens.net/login/index>

*ステップ I のみの利用者はクラウドシステムにログインすることはできない。

■LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない（操作 1 p. 32、操作抜粋 p. 32）

マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）は日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会のマイページからアクセスできる。下記 URL からマイページにログインし、画面下方の「LD-SKAIP 利用」をクリックする。

マイページログインページ：<https://jald-sens.org/entry/login.aspx>

■パスワードを忘れてしまった

パスワードは日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページのログインパスワードと共通である。

パスワードを確認するには、マイページログイン画面に表示されている「ログイン ID・パスワードをお忘れの方はこちら」をクリックし、メールアドレス、リマインダの質問、リマインダの回答を入力してパスワードを確認する。

■LD-SKAIP ID を忘れてしまった

マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）にアクセスすると、左側の個人情報欄に LD-SKAIP ID が表示されているのでそこで確認する。

■操作マニュアルをダウンロードしたい

①ステップ I のみ利用（フリー利用者）

下記アドレスにアクセスし操作マニュアルをダウンロードする。（LD-SKAIP アプリのメインメニュー右下の「ご利用について」からもダウンロード画面にアクセスできる）

[トップにもどる](#)

<https://skaip-sens.net/start/>

②ステップⅡ・Ⅲ利用登録者

クラウドシステムの「テンプレートダウンロード」－「共通」からダウンロードする。クラウドシステムのログインページは <https://www.skaip-sens.net/login/index>

*Internet Explorer ではPDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のインターネットブラウザを利用する。

■動画マニュアルを視聴したい（ステップⅡ・Ⅲ利用登録者）

クラウドシステムの「テンプレート」－「共通」から「動画マニュアル一覧」（PDF）をダウンロードする。一覧にはそれぞれの動画の URL および QR コードが掲載されている。URL をインターネットブラウザのアドレスバーに入力または QR コードを読み込んでアクセスすることで動画を視聴することができる。

■回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい（操作 1 p. 37～39）

ステップⅡおよびステップⅢで使用する回答用紙、記録用紙はクラウドシステムの「テンプレートダウンロード」－「ステップⅡ」および「ステップⅢ」からダウンロードする。

*Internet Explorer ではPDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のインターネットブラウザを利用する。

■これまでとは別の（新しく購入した）iPad でLD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か

一般社団法人日本LD学会には特に届けなどの手続きは必要ない。

これまで使っていた iPad で、これまでに実施した検査の採点を済ませ、クラウドシステムに検査結果を同期（送信）しておく。

使いたい iPad に LD-SKAIP アプリをダウンロードし、LD-SKAIP ID とパスワードでログインすれば利用することができる。これまで登録した児童については、ログインした時点で児童選択画面（検査）・（結果）に表示される。検査結果は検査ごとにクラウドシステムと同期（受信）することで、見るようになる。

※一度ログアウトすることになるため、下記のデータが削除され、確認できなくなるため注意する。

【ログアウトにより削除されるデータ】

- ・同期していない検査結果データ
（練習用に設定されている検査結果データ・未採点の検査結果データを含む）
- ・ステップⅡ音韻検査の音声データ

[トップにもどる](#)

- ・ステップⅢ読み検査の音声データ

※ (ほかのアプリ・データ等の) データ移行を iTunes・ iCloud 経由でする場合も LD-SKAIP アプリについては、データの確実な保存、アプリの正常な動作のため上記の方法を勧める。

■音声が流れない

まず、スピーカーが機能していることを確認する。「設定」→「サウンド」(または「設定」→「サウンドと触覚」)で「着信音と通知音」のスライダを数回ドラッグする。音が聞こえスピーカーが機能していることが確認できたら、下記①～③を確認する。音が聞こえない場合は Apple サポートに問い合わせる。

(Apple 公式 HP 参照 : <https://support.apple.com/ja-jp/HT203794> 閲覧 2020/1/31)



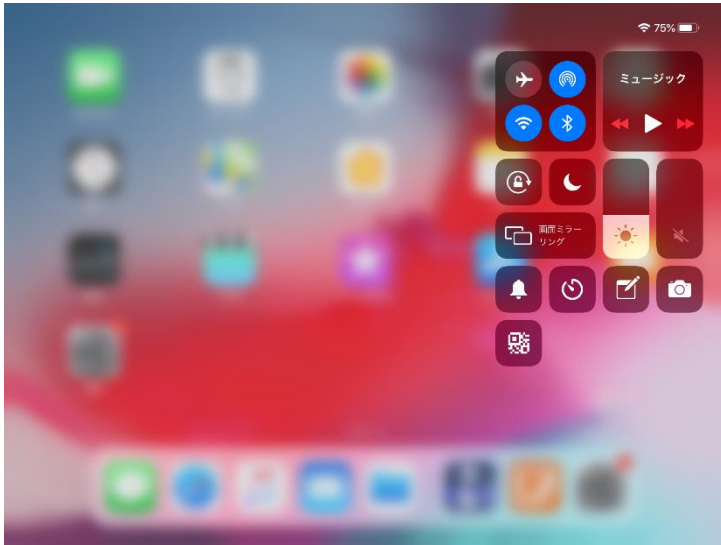
①音量の設定が小さくなっていないか確認し、小さくなっていれば大きくする。

(iPad 側面の音量設定ボタンまたはコントロールセンターの音量調整^(※)をドラッグ)

②消音モードになっていないか確認し^(※)、消音モードになっている場合はタッチしてオフにする。

③おやすみモードになっていないか確認し^(※)、おやすみモードになっている場合はタッチしてオフにする。

※消音モード、おやすみモードはコントロールセンターから確認・切り替えができる。iPad 画面の右上隅から下にスワイプ (iOS12 より前の iPad では画面の下から上にスワイプ) するとコントロールセンターが表示される。それぞれのボタンが白黒で表示されている場合、オフになっている。



コントロールセンターの画面
(カスタマイズや、iOS (iPadOS) のバージョンによって表示のされ方が異なる)



■LD-SKAIP ステップⅡ講習会、ステップⅢ講習会を受講した者がS. E. N. Sの会支部会で伝達講習会を行ってもよいか

LD-SKAIP 講習会を受講した者が S. E. N. S の会支部会で伝達講習会を行ってもよい。その際、伝達講習会受講者がアプリを操作することも構わない。

ただし、伝達講習会は LD-SKAIP 講習会の代わりにはならないため、LD-SKAIP を児童に利用するためには、一般社団法人日本 LD 学会主催の LD-SKAIP 講習会を受講する必要がある。

■検査を実施する際は保護者に説明しなければならないのか

検査を実施する際は、基本的に対象者（未成年の場合はその保護者）の同意が必要である。

「LD-SKAIP 利用会員倫理綱領」を確認し、適切に利用する。

また、クラウドシステムに「保護者用検査説明書」がアップ（2020年12月追加）されているので、ダウンロード、印刷し、お渡ししてもよい。説明書の内容は、必要な部分のみを抜粋して印刷してもよい。

検査の実際の問題については開示しないように注意する。

■小学1年生にはいつ頃検査をするとよいか

ステップⅡおよびステップⅢ読み・書きについては、一通りの学習が終了した3学期に実施するのが望ましい。

ステップⅢ算数では、標準化サンプルとの比較で得点が算出されるのではなく、学習指導要領をベースに設定された検査設問の正誤に基づいて結果が出される。そのため、その内容が既習か未習かによって、検査者が判断しながら、実施することができる。

開始問題・上限下限のルール（操作3 p. 47～49 参照）にあるように、どの下位領域も、未習の

[トップにもどる](#)

学年（1年生の児童なら2年生以上）の内容は出題されないようにプログラムされており、1年生の場合はどの時期に実施しても「現学年（＝1年生）」の設問が提示されるようにプログラムされている。

学習が済んでおり、習得状況を確認する必要がある下位領域であれば、3学期よりも前であっても、検査者の判断で実施することが可能である。『設問一覧』や『記録用紙』で設問内容を確認の上、対象児童のアセスメントに必要な下位領域を検査者の判断で選択し実施する。

■ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢをそれぞれ別の日に行ってもよいか

ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢを別日に行っても構わない。

ステップⅡの3つの検査（読字・書字・計算検査（一括または個別実施）、音韻検査、視覚認知検査）、ステップⅢの3つの検査（読み検査、書き検査、算数検査）もそれぞれ別日に行っても構わない。

ステップⅢ算数では、実施する下位検査領域を選択できるため、下位検査領域ごとに別日に実施することも可能である。すでに実施した児童のデータは、“実施済み”の扱いとなり、児童選択画面（検査）では「検査終了」と表示されているが、このまま「実施する」をタッチする。実施回の確認画面で学年・組・番号を確認し、検査を再開する実施回で「この実施回で実施」をタッチする。実施する下位検査領域を選択する際に、すでに実施済みの下位検査領域を選択しないように気を付ける。（操作 3p. 57～58 参照）

■検査を中断したい時はどうすればよいか

(所見は閲覧しなくてよく、休憩後続きから検査したい)

検査を中断したい場合は、LD-SKAIPの動作が止まっている(「次へ」ボタンをタッチしないと進まない)画面で、ホームボタンを1回押してホーム画面に切り替えたり、ホームボタンを2回押して、起動中の他のアプリと切り替えたりすることでデータを消すことなく検査を中断することができる。

検査に戻りたいときは、ホームボタンを2回押し、LD-SKAIPの画面をタッチすることで再開することができる。この時に誤ってスワイプ(アプリの画面に触れたまま上へ指をスライド)して画面から消してしまったり、端末の終了・再起動をしてしまったりするとデータが消えてしまうため注意する。

* iPadのバージョンによってアプリを終了する操作方法が異なることがあるため、それぞれの利用方法を参照すること。



ホームボタン



スワイプ

■ステップⅡ 読字・書字・計算の一括実施を始めたが中断したい場合どうするとよいか

ステップⅡ 読字・書字・計算を1度でできない可能性がある場合は、個別実施をするように気を付ける。

ステップⅡ 読字・書字・計算の一括実施を始めたが子どもの状態や時間の都合などで中断したい場合、各検査(読字検査は文の読みまで、書字検査は視写まで、計算検査は最後まで)の最後まで実施してから終了するようにする。各検査の最後まで実施したら、アプリを終了する。アプリを終了するにはiPadのホームボタンをすばやく2回押し、アプリが並んで表示される画面で、終了したいアプリを上方向へスワイプ(アプリの画面に触れたまま上へ指をスライド)し、画面上から消す。これで実施した分までの結果が保存され、実施していない検査は未実施の状態となる。

未実施の検査については、必要に応じ別日に実施する。

■ステップⅡ 書字の採点で拗音・促音がマスの右上に書かれていない場合どうすればよいか

■ステップⅡ 書字の採点で拗音・促音の文字の大きさについての判定についての基準は

ステップⅡ 書字では、正しく書くことができるかどうかを評価している。そのため、拗音・促

[トップにもどる](#)

音がマスの右上に書かれていなくても正しく書かれていれば正答とする。

また、拗音・促音が当該児童の他の字と比較して、小さめに書かれていると判断できた場合、正しく書かれていれば正答とする。

■検査実施後すぐに採点・同期しないといけないのか

■検査実施後すぐ別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施してもいいのか

検査実施後にすぐ採点・同期をする必要はない。検査後、すぐに別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施したりして構わない。

検査データは自動で保存されているため、後日に採点、所見の確認、同期をすることができる。その場合はLD-SKAIP アプリからはログアウトはしないこと。(アプリを終了するだけではログアウトすることにはならない。詳しくは「[アプリを終了するとログアウトしてしまうのか](#)」を参照)

■別の識別名・実施回で実施した検査結果を統合することはできるか

別の識別名・実施回で実施した検査結果を統合することはできない。

■アプリを終了するとログアウトしてしまうのか

アプリを終了(操作1p.13)してもログアウトはしない。また、時間の経過により自動でログアウトすることもない。

メインメニューまたはステップⅡ・Ⅲスタート画面の「ログアウト」をタッチした場合にのみログアウトできる。(操作1p.31)

■ログアウトは必ずしないといけないのか／ログインしたままでもよいか

ログアウトはしなくても構わない(ログインしたままでもよい)。ただし、共用のiPadであったり、児童や他の人がiPadを利用したりするような場合には、情報の流出防止ため必要に応じてログアウトする。

ログアウトすると、下記のデータが削除され、確認できなくなるため注意する。

【ログアウトにより削除されるデータ】

- ・同期していない検査結果データ
(練習用に設定されている検査結果データ・未採点の検査結果データを含む)
- ・ステップⅡ音韻検査の音声データ
- ・ステップⅢ読み検査の音声データ

■ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか

ステップⅡ読字・書字・計算では、ヘッドフォンを着けることが推奨される。これは①音声を聞き取りやすくするため、②周囲の雑音を減らして児童が集中しやすいようにするためである。しかし、感覚過敏などのために着けるとかえって検査に集中しづらい場合は着けずに検査をしてもよい。

ステップⅡ補助検査：音韻では、児童の回答を録音するためにマイク付きヘッドフォンを利用する。しかし、ヘッドフォンを着けることが難しい場合は、iPad 本体のマイク機能で録音する。児童にははっきり大きな声で回答するように指示する。

■ヘッドフォンから音が聞こえない

ヘッドフォンから音が聞こえないと児童が訴える場合、次の点を確認する。

- ①プラグがイヤホンジャックの奥まで差し込まれているか確認。
- ②音が聞こえる画面であることを確認。(プラグを抜いてみて音が聞こえるか確認。)
- ③音が聞こえるか検査者がヘッドフォンを付けて確認。

→聞こえない：ヘッドフォンを交換する。

→聞こえる：児童にとっては聞きにくいという場合は児童に合わせて音量の設定をしなおす。

■ヘッドフォンをつけるのを嫌がる

ステップⅡ読字・書字・計算では、ヘッドフォンを着けることが推奨される。これは①音声を聞き取りやすくするため、②周囲の雑音を減らして児童が集中しやすいようにするためである。しかし、感覚過敏などのために着けるとかえって検査に集中しづらい場合は着けずに検査をしてもよい。

ステップⅡ補助検査：音韻では、児童の回答を録音するためにマイク付きヘッドフォンを利用する。しかし、ヘッドフォンを着けることが難しい場合は、iPad 本体のマイク機能で録音する。児童にははっきり大きな声で回答するように指示する。

■ステップⅢ算数で画面のメモに文字を書くのが難しい (操作 3 p. 46、p. 55)

ステップⅢ算数のメモ機能はタッチペンを使って書くことを想定している。タッチペンの利用が難しい場合は、別途ホワイトボードとホワイトボード用マーカーや計算用紙と鉛筆などを準備し、使用する。

■ iPadの電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった

iPadの電源が切れてしまったり、アプリが途中で落ちてしまったり場合、それぞれの検査は下記のように検査データが保存されるようになっている。保存されているデータの次から検査を再開する。

【ステップⅠ】

1つ前のページまでの回答が保存されている。児童選択画面（検査）では実施状況が「未実施」と表示されるため、「実施する」をタッチして質問画面まで進み、続きから回答を行う。

【ステップⅡ】

基本検査のステップⅡ読字・書字・計算検査を一括で実施している場合、最後の問題まで終了している検査（読字検査では文の読みまで終了している・書字検査では視写まで終了している・計算検査ではについて最後まで終了している）までの結果データが保存されている。読字・書字・計算検査の一括実施を選択した際の児童選択画面（検査）では実施状況には各検査が「検査終了」か「未実施」かが表示されている。実施したい検査を個別実施で選択して実施する。

例：ステップⅡ読字・書字・計算検査を一括実施で開始し、書字「視写」の途中で電源が落ちた→ステップⅡ読字検査までの回答が保存されて、一括実施の児童選択画面（検査）では読字は検査終了、書字・計算は未実施と表示される。書字・計算を実施したい場合、「ステップⅡ読字・書字・計算検査」から個別実施「書字」を選択して実施した後、同様に個別実施「計算」を選択して実施する。

基本検査のステップⅡ読字・書字・計算検査の個別実施では、検査が終了していないとデータは保存されない。児童選択画面（検査）では実施状況が「未実施」と表示されるため、「実施する」をタッチして検査を実施する。

【ステップⅢ読み・書き】

検査が終了していないとデータは保存されない。児童選択画面（検査）では実施状況が「未実施」と表示されるため、「実施する」をタッチして検査を実施する。

【ステップⅢ算数】

1つ前の画面までの回答が保存されている。下位領域の区切りではなかった場合、上限下限が確定していない下位領域が存在することになる（検査者が操作して中断した場合は、下位領域の区切りの問題までしか保存されない）。【習得状況プロフィール】では正答率が「実施した設問のうち正答した設問数／全設問数（実施した設問数ではなく、その下位領域に含まれている全ての設問数）」と計算されて表示されるので注意する。

続きを実施する場合は、以下のように進める。

①途中で中断された下位領域のうち、すでに回答した問題について、実施中に検査者が記録用紙に取ったメモやステップⅢ算数の【習得状況プロフィール】【回答表示画面】で児童の回答を確認しておく。

②「児童選択画面（検査）」で該当する児童を選択する。

③途中で中断された下位領域を含み実施したい下位領域を選択し、検査を開始する。すでに児童が実施済みの問題は検査者が回答を入力し、続きから児童に回答させる。

■アプリが固まってしまった

アプリが固まってしまった（画面をタッチしても動かない、音声流れない）場合は、アプリを一度完全に終了する。

終了するには、ホーム画面に戻り（iPadのホームボタンを押す）、iPadのホームボタンを素早く2回押して、起動中のアプリを表示させる。終了したいアプリを上方向へフリック（アプリの画面に触れたまま上へ指をスライド）し、画面上から消す。（操作1 p.12～13）

これ以降はQ&A「[iPadの電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった](#)」の項目を参照。

■アプリが正常に動作しない

以下の項目を確認の上、日本LD学会ホームページ問い合わせフォームから問い合わせる。

- ・iPadのサイズ（例：9.7インチ）
- ・iOS(iPadOS)のバージョン（例：iOS(iPadOS)11.4.1）

確認方法→[iOS\(iPadOS\)のバージョンはどこで確認するのか](#)

- ・アプリのバージョン（例：Ver 2.0(2.0.1)）
- ・どのような流れで操作を行ったか

*iPadのサイズがわからない場合は、iPadの裏側下方にかかれたAから始まるモデル番号を確認する。（例：A1566）

*アプリのバージョンの確認方法：メインメニューまたはステップⅡ、Ⅲのスタートメニューの右上に表示された「Ver」の横に記載された数字がアプリのバージョンである。（ ）内まで記入する。

■同じ児童に再度検査を実施したい（操作1 p.22、操作抜粋 p.22）

新しいバージョン（Ver 2.0～）から、同じ児童（識別名）に複数回実施をすることができるようになった。同じ検査を同じ児童に複数回実施*する場合、別の実施回で検査を行う。

*複数回実施とは、同じ児童に同じ検査を繰り返し実施することである。例えばステップⅡ読字・書字・計算がすでに終了している児童にステップⅡ読字・書字・計算を実施したり、ステップⅡ読字を実施したりすることである。

ステップⅡ読字・書字・計算を実施した児童にまだ実施していないステップⅢ読みを実施することは複数回実施ではない。同じく、ステップⅢ算数で、まだ実施していない領域を実施することは複数回実施ではない。

すでに検査を実施している場合には、児童選択画面（検査）で「実施する」をタッチした際に

[トップにもどる](#)

表示される実施回の確認画面で実施状況が「検査終了」となっている。この児童で再度同じ検査を実施する場合には「他の実施回で実施」をタッチする。

ただし、①ステップⅠで選択を変更したい場合、②ステップⅢ算数で、未実施の他の領域をこの実施回で実施したい場合は、「検査終了」となっているにもかかわらず「この実施回で実施」をタッチして進む。

なお、連動した所見は同じ実施回で実施された検査がある場合に出力される。

■どれくらいあげたら同じ検査を再度検査してよいか

ステップⅠについては、特に期間の定めはない。

ステップⅡ・Ⅲについては1年程度の期間をあけることが目安となる。特にステップⅢ読みについては、話の内容を覚えてしまっていると学習効果がでる可能性が高いため、十分な期間をあけることが必要である。

■年度が変わったが同じ実施回で検査してよいか（操作1 p. 18、操作抜粋 p. 18）

年度が変わってから検査を行う際には「他の実施回で実施」から新しい学年で登録を行い実施する。

例えば2020年度に3年生の児童にステップⅠ・Ⅱを実施し、2021年度（4年生）に入ってからそのままの実施回でステップⅢを検査するとステップⅢの検査は3年生用の課題で出題され、評価も3年生の基準値で行われてしまう。このため、2021年度に入ってから検査をする場合には、「他の実施回で実施」から4年生として登録を行い、ステップⅢを実施する必要がある。この場合、ステップⅠ・Ⅱと連動した所見は出力されない。

■年度が変わったが、ステップⅠは新しい担任につけてもらった方がよいか、前の担任につけてもらった方がよいか

ステップⅠは児童のことをよく知っている教師につけてもらう方がよい。そのため、年度が変わってすぐの時期は1つ前の学年の担任につけてもらった方がより信頼性のある結果になると考えられる。

■検査を実施したのに、所見が見られない（所見ボタンがアクティブにならない）

ステップⅡ書字、ステップⅡ補助検査：音韻、ステップⅢ読み、ステップⅢ書きは検査後、採点を終了しないと所見を見ることができないため、採点を行う。

ステップⅡ書字→操作2 p. 21

ステップⅡ補助検査：音韻→操作2 p. 46

ステップⅢ読み→操作3 p. 19

ステップⅢ書き→操作3 p. 34

■音声データ（ステップⅡ補助検査：音韻、ステップⅢ読み）を聞くことができない

音声データはクラウドシステムへの同期対象外である。そのため、アプリからログアウトすると音声データは削除され、再ログイン後も聞くことはできない。

ステップⅡ音韻、ステップⅢ読みは検査を実施したらできるだけ早く採点を終了させ、クラウドシステムに結果を同期するようにする。

■採点をしたのに「採点」のボタンが表示されたままになる

「採点」のボタンは採点の修正ができるように、採点が終了しても表示されたままである。

ステップⅡ書字、ステップⅡ音韻、ステップⅢ読みは一度採点が終了した後、再度「採点」をタッチすると、採点済みのデータが表示されるため、該当部分のみ修正する。

ステップⅢ書きは一度採点が終了した後に、採点を修正する場合には採点済みのデータは表示されず、再度作文をカメラで撮影する最初の段階からスタートとなる。

■クラウドシステムに結果データを同期（送信・受信）できない

■クラウドシステムで検査結果の閲覧・ダウンロードができない

①結果データを同期（受信・送信）するのにインターネットに接続していない

検査データを同期する際は、インターネットに接続している必要がある。インターネットに接続した状態でデータの同期を行う。

②講習会受講の情報が反映されていない

ステップⅡ（・Ⅲ）の講習会受講後から結果データの送信や、検査結果の閲覧が可能になる。なお、講習会受講から本利用が可能になるまでに数日かかる。マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）でステップⅡ（・Ⅲ）の講習会の状況が受講済になっていない場合はまだ講習会受講の情報が反映されていないため、クラウドシステムへの結果データ送信や結果の閲覧・ダウンロード機能を利用することができない。情報が反映されたのを確認してから利用する。

③利用権限の変更がアプリに反映されていない（操作 1 p. 15）

LD-SKAIP ステップⅡ（・Ⅲ）は講習会を受講すると仮利用から本利用に利用権限が変更になる。仮利用の状態ですべてにログインしている場合は、利用権限の変更をアプリに反映させる必要がある。インターネットに接続した状態で、「再認証」をタッチするか、ログインしなおすことで変更を反映する。

④日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会のマイページでパスワードを変更した

LD-SKAIP アプリにログインした状態で、パスワードを変更した場合

手順 1：LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスする（操作 1 p. 32）

手順 2：アプリのメインメニューでパスワードの変更を行う（操作 1 p. 14）

手順 3：データの同期（送信・受信）を行う（操作 1 p. 27）

⑤LD-SKAIP アプリのバージョンアップができていない

2020年7月に行われたLD-SKAIPアプリのバージョンアップ（Ver 2.0）を反映していないと、クラウドシステムへの同期ができない。インターネットに接続した状態でアップデートを行う。（操作1 p. 9）

■結果を印刷したい

- ①検査データをクラウドシステムに同期（送信）する（操作1 p. 27）
- ②クラウドシステムにアクセスする（操作1 p. 37）
- ③該当児童の「所見 PDF」をダウンロードし印刷する（操作1 p. 39）

■結果を保護者に説明する際、結果データをそのままお渡ししてもよいか

保護者へ検査結果のデータのみをお渡しすることはせず、必ず報告書を作成してお渡しする。報告書のひながたがクラウドシステムにアップ（2020年12月追加）されており、ダウンロードして使用できる。

■クラウドシステムでステップⅢ算数の回答内容が表示されない

ステップⅢ算数の回答内容は、アプリからクラウドシステムに同期されてはいるが、クラウドシステムで表示はされない。回答内容を確認したい場合は、LD-SKAIPのアプリで確認する。

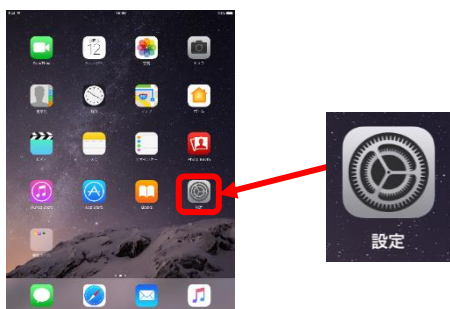
■検査データを同期したのに、「結果受信」のボタンが表示されない

「結果受信」はアプリから一旦ログアウトし、再度ログインした場合に表示される。「結果受信」を行うと「結果受信」は灰色になり、アクティブでなくなる。

■iOS(iPadOS)のバージョンはどこで確認するのか

iPadのソフトウェア（iOS(iPadOS)）のバージョンを確認するには、下記のような手順をとる。

1. iPad ホーム画面にある「設定」をタップする。



2. 「一般」 → 「情報」 の順にタッチする。



3. 「システムバージョン」の横に記載された数字が、iOS(iPadOS)のバージョンである。



■ iOS (iPadOS) のアップデートとは何か

iOS (iPadOS) (オペレーティングシステム) は iPad 等を動かすために使われる基本的なソフトであり Apple 社が開発をしている。より新たな機能の追加やバグ (プログラム中の誤り) の修正を行い公開される (アップデート)。iPad がインターネットに接続されていれば iOS (iPadOS) のアップデートを反映させるか画面表示される。

iOS (iPadOS) のバージョンは iPad の「設定」から確認でき、「11.4.1」のように表示される。

年に1回程度 iOS (iPadOS) 12 から iOS (iPadOS) 13 のように最初の数字が変わるような大きなアップデートが行われる。この際、新しい iOS (iPadOS) に対応できずアプリが使えなくなることがある。

■ LD-SKAIP アプリのバージョンアップはしないといけないのか

iOS (iPadOS) のアップデートに対応できるように LD-SKAIP アプリもアップデートを行う。

iOS (iPadOS) のアップデートは対応できるアプリのバージョンアップが行われてから反映させるようにする。

アプリのバージョンアップはメールやマイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) のお知らせで案内する。

***2020年7月に行われたバージョンアップは反映していないとクラウドシステムへの同期ができないため、必ずアップデートする。**

■LD-SKAIP アプリを利用する際、iPadのアクセシビリティ機能を利用することは可能か

iPad OS14以降、アクセシビリティ対応機能が順次追加されている。「文字を太くする」「さらに大きな文字」は、適応しても、LD-SKAIPのほとんどの検査場面では文字は固定されているため、文字が太くなったり、大きくなることはない。また「反転（スマート）」「反転（クラシック）」等は検査画面のほとんどで色が反転する。

いずれも検査実施時の利用は推奨されない。採点者が必要な場合は、採点時にアクセシビリティ機能を設定し利用する。